

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえずり公園一

第34号 2012年1月31日発行 発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者；間野 洋 編集者；木村 信夫

発見！里山の豊かさ、楽しみ…第11回植樹祭&収穫祭報告 実行委員長 木村信夫

当会と多摩美みどりの会の共催による植樹祭&収穫祭は、11回目を迎えました。開催日の11月20日(日)の天気予報はほとんど雨で、前日の準備もカッパを着ての机や薪の運搬でした。それでも、低気圧よ早く東へ移動してとの願いが叶い、朝から天気回復し、200人もの皆さんのご参加で、全プログラムを無事行なうことができました。

このイベントはここ数年、自然豊かな森を育てるとともに、「地域の皆さんとの交流・連携」を深めることをねらいとして開いてきました。その中で、山畑の収穫物で焼き芋や豚汁、森の草木で作品づくり、そして森の音楽会など、森の魅力が次々と膨らんできました。そこで今回のテーマを「発見！里山の豊かさ、楽しみ」として、皆で森の恩恵を味わい交流するひとときとしました。

開会行事に続き「暮らしに役立つ植物たち」の観察(2頁参照)です。選んだ木はコナラ・エノキ・ホオノキ・ミツマタなど8種。日本人の生活文化は里山植物で豊かに育ったことに、皆さん大いに感心されました。

今回の記念植樹は、ヤマボウシを3班に分かれて植樹。花と実と紅葉と3回楽しめる木なので、元気に育てていきたいと思います。

続く収穫祭では、滝峠麻生区長からお励ま

しの言葉と乾杯の音頭をいただき、豚汁、焼き芋、茹で芋(里芋)など秋の味覚を楽しみながら、和やかな宴となりました。焚き火のおきでマシュマロを焼くご家族も。

音楽会は、国際的に活躍されている地元の音楽家、荒瀬順子さんのご協力をいただき、今年はお弟子の村田恵さんとのコンビによるマリンバ演奏です。曲目は、エンターテイナー、メイプル・リーフ・ラグ、ハンガリー舞曲第5番、くまん蜂の飛行など。そして、みんなで一緒に、もみじ、赤とんぼを合唱。今年雨上がりのためか、マリンバの音色が本当によく森に響き渡りました。

森づくりと、森での人びとの触れ合い・交流の大切さを実感するイベントになりました。ご支援・ご協力いただいた皆様、両会会員のご努力に厚くお礼申し上げます。

●多摩美の森でのマリンバ演奏 村田 恵

多摩美の森は、荒瀬順子先生のレッスンに通った高校生のとき、先生に連れて来ていただいた懐かしい場所でした。今回、その場所で、大師匠である荒瀬先生と演奏させていただけることになり、とても楽しみにしておりました。

自然のなかでマリンバを弾くのは初めての経験です。屋外で弾くと、音が散らばって遠くまで届かないのかなと思いましたが、木や土や自然の色々なものに反響したのでしょうか、実際はとてもよく響き、ホールとは一味違った心地よさを感じました。多摩美の皆さんの前で先生と演奏ができ、とても幸せな時間をいただきました。鳥の声が出て、いい風が吹き、おいしいお芋をいただけて…。こんな安らぐ森がある多摩美の森はとても素敵なおところです。



◆ 西生田小5年生、3年生 「森の体験学習」実施される 副会長 中谷一郎

● 5年生の「環境体験学習」

5年生 145名の環境体験学習が、麻生区市民健康の森で、10月4日(火)、6日(木)に、各日2クラスずつで実施されました。

学習内容は前年とは少し変えて、①暮らしに役立つ植物たち、②樹木の二酸化炭素吸着量測定の2項目とし、当会の会員と自然観察指導員高橋英さん、佐藤登紀子さんが、2日間、延べ28名で指導に当たりました。

まず、間野会長が本日の学習の全体的な説明をし、とくに樹木の役割、葉の光合成のしくみと、樹木が吸収する二酸化炭素量の計算方法を分かりやすく話をしました。

①暮らしに役立つ植物たち

今回初めて取り入れた学習テーマで、里山の草木がどれほど私たちの生活に活かされているかを、森を巡回しながら学ぶものです。7、8人編成の5班にガイド各1人がついて巡回。②と交替で2ラウンドしました。ガイドは植物ご専門の高橋さん・佐藤さんと、会員3名が当たりました。

取り上げた植物は、11種。広場周辺のコナラ・クヌギ・エノキ・ホオノキ・マユミ・チャ、通路沿いのクロモジ・ミツマタ、下の畑のキリ、たんぼぼ園のヤマグラ・ワラビです。利用は、衣・食・住に、生活用具に、エネルギーにと多彩で、エノキのように国蝶オオムラサキの餌、旅人が休む木陰になるものもあります。茶と和菓子(ワラ



ビ餅)とお菓子を食べるときの高級爪楊枝(クロモジ)というように、日本の伝統文化も森の植物あってこそ。それらの恩恵を活かしてきた先祖たちの知恵に、子どもたちは一つひとつ感心しながら回りました。

木のところには樹種名パネルと、実物・資料(コナラとクヌギでは炭、キノコ栽培の写真、どんぐり細工など)を置き、会員が楽しんでガイドできるようカラー「観察マップ」を作りました。

②樹木の二酸化炭素吸着量測定

例年通り、班別に樹木の幹周を測定し、

葉面積×吸着指数=C
CO₂量(kg/年)を算出し、人間が排出するCO₂何人分に当たるかを計算しました。



● 3年生の「冬の森の体験学習」

12月6日(火)に、麻生市区民健康の森で、全4クラス、134名の児童と先生、父兄の皆さんの参加で実施しました。指導は例年と同じく高橋英さんと、会員7名。

学習内容は、①タネの旅立ち、②ネイチャービンゴゲーム、③冬の森の写生、④自分で決めた森の樹木、鳥、昆虫、土、石などが季節でどう変化するか4つです。

①タネの旅立ちについては全員で実施しました。自然観察指導員の高橋英さんから、自然界で植物のタネが運ばれる方法は、風に乗って、鳥に食べられて、動物の体について、水に流されて、など、植物が生きる

ための巧みな戦略を持っていることを、実物を見ながら説明されました。



その後、班に分かれて②と③を、各自で④を実施しました。とくにビンゴゲームでは、先生から「ビンゴが目的でなく、何を見てきたか経過が大切だ」との厳しい指導が入りました。

子どもから筆者に「コナラとクヌギは何科？」と聞かれ、ブナ科と答えたものの、「では、モグラは？」との問いには返答に窮しました。このように、熱心な質問も多く、森への関心、森の大切さ、ごみを捨てないことなど、よく理解しており、先生の指導の素晴らしさに会員一同感心しました。

子どもたち全員からうれしい感想文が届きました。紙面上、一部のみ掲載します。

多ま美の森の人たちへ

わたしは、自分のかだいをやっている時にカラスウリを見てびっくりしました。それはたねが入っていたからです。わたしは、家が近くなので友だちといっしょにプレーパークや、やきいもを食べたりマシュマロをやいたりします。楽しい出し物をしたり、いろんなことをやってくれてありがとうございました。 G・M さん

会員さんたちへ

この間12月6日(火)は、いろいろな、たねのしくみ、たねのふえかたなどをおしえてくださってありがとうございました。ぼくもときどき多ま美の森へ行くので、たねをさがしてみたいです。 H・K くん

●2011 花と緑の交流会に参加して 赤尾 整史

交流会に先立ち、11月5日に開催されたイベントの「緑地探検隊」に参加しました。当日は天気にも恵まれ、多摩区から麻生区にかけて10ヶ所の緑地や公園を辿り歩き、地区の緑を守り育てる活動をしておられる団体の方々のお話を聞くことができました。歩いた経路は東生田自然遊歩道のルートにはほぼ沿っており、以前この遊歩道を歩いている時に、周辺環境がきれいに整備されていると感じましたが、こうした緑の活動団体の方々が入力をされておられたのだと察した次第です。

麻生区市民健康の森にも散策に来られる人がおられますが、我々の活動により、そうした方々が気持ちよく周囲の木々や草花を観察、休憩していただけているのではないかと若干自己満足しております。

11月20日、交流会が開催されました。参加は59団体、パネル出展52団体、約750名が集い、大盛況でした。7区の市民健康の森は特別企画として一室を借りきり、「川崎市市民健康の森10年の歩み」の特別展を開催。各区とも森づくり当初と現在の風景を対比した写真を多数出展し、なかか見ごたえがあるものでした。

劇団飛行船のミニ劇場として「ロビンフッドの冒険」が上演され、子どもたちに大好評でした。

ミニサロンとして、5人の花の専門家、緑の研究者による講座が開催されました。とくにわれわれに関係がある講座として、川崎市公園緑地協会事務局長(元緑政部長)の村上豊比古氏が「10年を迎えた市民健康の森が築いたものと今後の歩み」というテーマで講演され、市民健康の森の立ち上げには行政サイドも相当苦勞されたこと、近隣の都府県を巻き込んだ三浦丘陵緑地構想(緑の回廊)についての話が印象に残りました。

◆私の部屋◆ モロッコの迷宮をさ迷う①

中村 浩

2011年の1月にアフリカ大陸北端のモロッコに行きました。今回の旅の一番の目的は、迷宮の街をガイドなしで散策し、道に迷うこと。

飛行機でカサブランカまで行き、電車を乗り継いでマラケシュへ。19時頃着く予定が、電車が遅れて、着いたのは21時半頃。駅構内から一歩出ると街灯が少なく、車のヘッドライトが頼りでした。タクシーでマラケシュ旧市街のジャマ・エル・フナ広場へ行き、そこから地図（宿のHPから印刷）を頼りに歩くも、自分の現在地が分からず、行ったり来たり・・・

人に聞いてもよく分からず、住所からあっちゃじゃないか、2本目の路を右に行けばいい、と言われても、どれが何本目の路かが問題である。地図にはメインストリート（馬車が通れる程度の道幅）と思われるものしか書かれていないのに、実際には幅の変わらない路が何本もある。違いは、メインストリートは人、バイク、自転車、ロバが行き交っている（写真）が、脇道はほとんど人通りがないことくらいだ。

1時間ほど迷ったところ、怪しげなおじさんに聞くと、「知っているよ、ついてきな」と言って、両側が建物に挟まれ枝分かれした人気のない路を進むこと100mばかり。「ここだ」とおじさんが示す高いドアの上の方に小さな字で宿の名前が書いてあった。考えれば当たり前のことで、予約していた宿は、数百年前に建てられた民家を改造したもの（部屋数5つ）で、隣は住居そのものであった。昼間に来ても絶対に自力では到達できないことを実感させられた。

チェックイン後、夕食をとり、ジャマ・エル・フナ広場の屋台へ繰り出した。1時間の徘徊のお陰で土地勘ができ、無事、宿に戻ることができた。これから7日間の、この街と迷宮都市フェズの探歩に期待が膨らむ初日であった。



●今後の活動予定 副会長 中谷 一郎

2011年の世相を漢字一字で示す“今年の漢字”は、「絆」でした。本年も子どもたちとの絆、地域の皆さんとの絆を大切に、自分たちも研鑽に励み、地道で中身の濃い活動をしたく思います。4月28日（土）は第10回通常総会です、ぜひご参加ください。今後の活動予定は下記の通りです。

2月 4日（土）アズマネザサを覆う蔓の除去、幹事会、夜、冬の星の観測会

2月18日（土）麻生プレーパークへの協力

2月19日（日）樹木の剪定、カントリーヘツジの整備

3月 3日（土）アズマネザサの蔓の除去、下草刈り

3月10日（土）2012里山フォーラムイン麻生

3月18日（日）春の観察会（座間谷戸山公園 予定）

4月 7日（土）畑の整備、草刈り、清掃

4月15日（日）総会準備、ゴミの収集、清掃

4月28日（土）第9回通常総会、幹事会
会場：区役所4階会議室（予定）

時間：午後3時半～5時

5月 5日（土）樹木手入れ、畑整備、清掃

5月20日（日）樹木手入れ、畑草取り、清掃

この間、補助作業日は第2、第4水曜日です。

★会員募集中です 一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わってください。年会費1,000円。

●麻生区のホームページで、市民健康の森を紹介、本紙のバックナンバーも見られます。
<http://www.city.kawasaki.jp/73/73tisin/miryoku/sanka/mori.htm>

◆皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

<問合せ・連絡先>

間野 洋 044-966-7233

mano-h@jcom.home.ne.jp

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com